

## 都市づくりに関する市民意向

---

# 第 2 章

**第1節 市民意向調査の概要**

**第2節 都市づくりに関する市民意向**

## 第1節 市民意向調査の概要

都市計画マスタープランの改定にあたり、市民の都市づくりに関する意向や意見等を把握することを目的として市民意向調査を実施しました。

市民意向調査は、「18歳以上の市民」のほかに、20年後の将来を担う「中学生・高校生」や本市への「転入者」も対象として、約1,600人の市民に幅広く実施しました。

### (1) 18歳以上の市民

【調査期間】 令和2年6月26日～7月10日

【調査対象】 18歳以上の市民約60,300人から1,500人を無作為抽出

【調査方法】 郵送による送付・回答

【回答件数】 573件（回答率38.2%）

【主な設問】 ○吉川市の「現状評価」と「今後、重要と考える事項」

○吉川市内で「将来に残したい場所」と「改善してほしい場所」

○定住の「意向」と「その理由」

○将来の都市づくりへの取組み

○20年後の吉川市の望ましいすがた

### (2) 中学生・高校生

【実施期間】 令和2年9月～10月

【実施対象】 市内4中学校の全2年生、吉川美南高校生のうち市内在住者

【実施方法】 各校において対象生徒に直接配布・回収

【回答総数】 803件

【主な設問】 ○大人になっても吉川市に住み続けたいと思いますか

○吉川市内で「将来に残したい場所」と「改善してほしい場所」

○20年後の吉川市の望ましいすがた

### (3) 転入者

【実施期間】 令和2年7月22日～9月30日

【実施対象】 転入届の提出者

【回答総数】 216件

【主な設問】 ○「引越の理由」と「吉川市を選んだ理由」

○吉川市に住み続けるために大切だと思うこと

## 第2節 都市づくりに関する市民意向

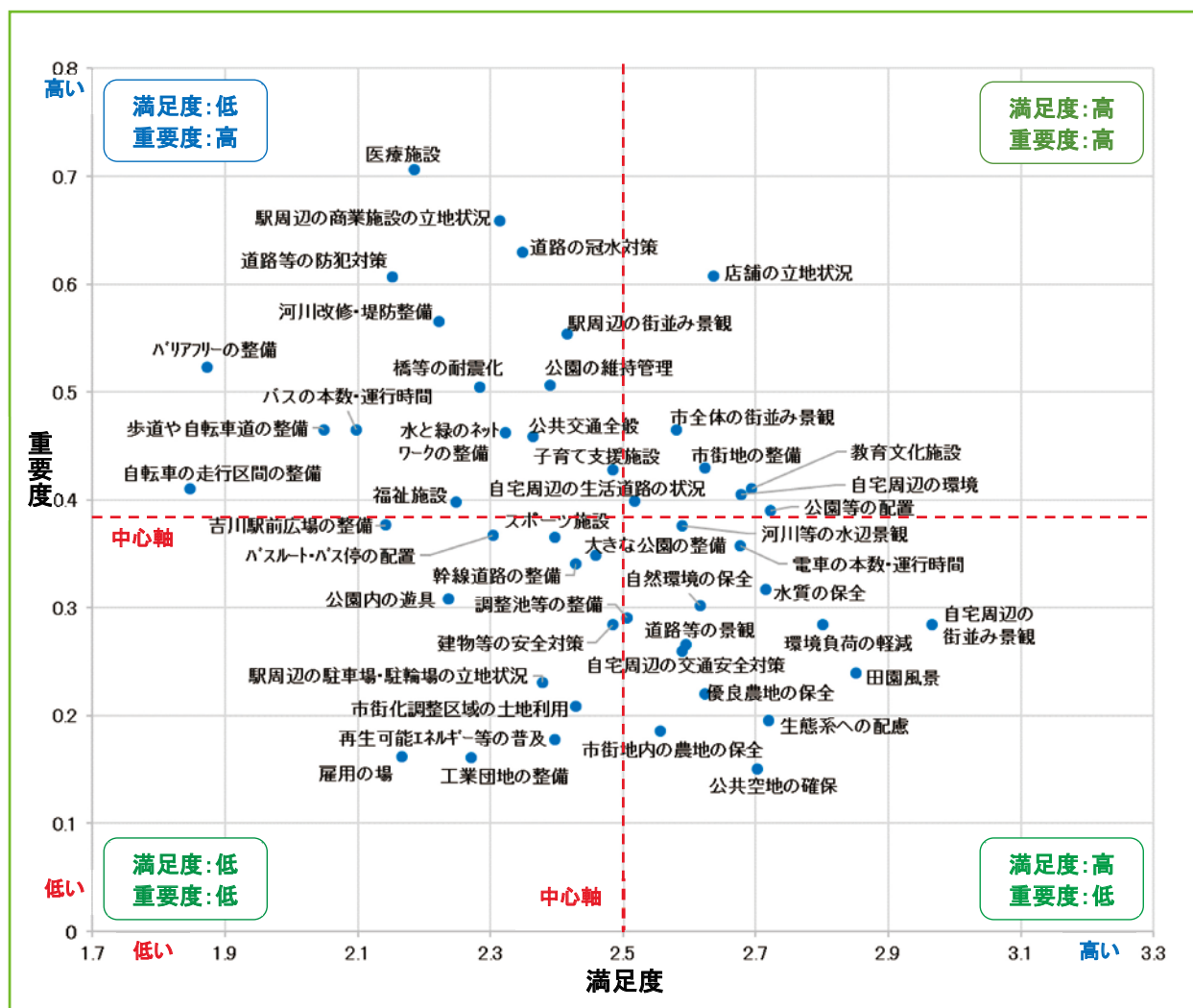
### 1 現状評価と今後の重要性

「18歳以上の市民」の調査において本市の現状評価（満足度）と今後の重要性（重要度）を伺ったところ、満足度について、「自宅周辺の街並み景観」や「田園風景」等は高い傾向でしたが、「自転車の走行区間の整備」や「歩道などのバリアフリーの整備」「歩道や自転車道のネットワークの整備」「路線バスの本数・運行時間」「吉川駅前広場の整備」等は低い傾向にありました。

重要度については、「医療施設の充実」や「駅周辺の商業・業務施設の立地」「道路の冠水対策」「道路や公園等の防犯対策」「河川の改修・堤防整備」等は高い傾向にありますが、満足度が低いため、改善が求められています。

また、自宅周辺の住みやすさについては、約8割の方が「満足」「どちらかと言えば満足」という結果となっています。

【18歳以上の市民「満足度・重要度 散布図」】



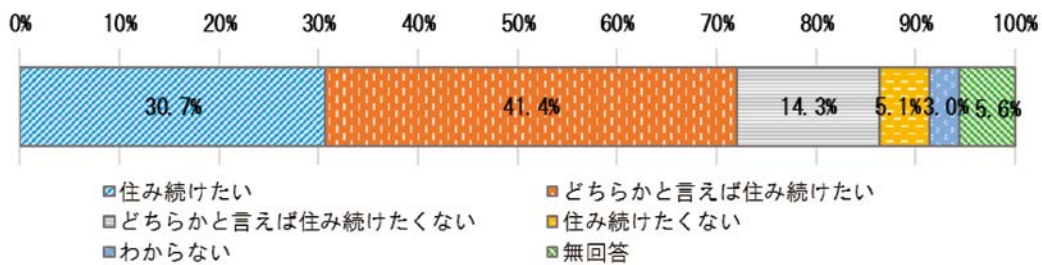
## 2 定住意向

定住意向について、「18歳以上の市民」では、「住み続けたい」、「どちらかと言えば住み続けたい」の割合は、72.1%でしたが、「中学生・高校生」では、同割合が41.4%となっており、中学生・高校生の定住意向が低くなっています。

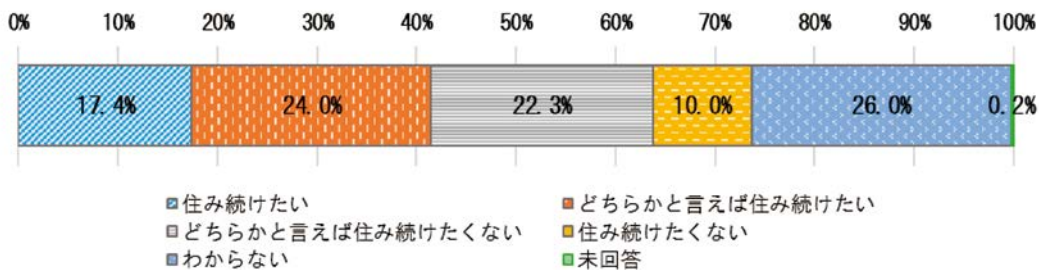
「18歳以上の市民」での「住み続けたい理由」の上位は、「住み親しんだまち」「住環境が良い」「大きなショッピングモールが近くにある」でした。

また、「住み続けたくない理由」の上位は、「医療・福祉施設が充実していない」や「鉄道等交通アクセスが不便」「通勤・通学が不便」となっています。

【18歳以上の市民「定住意向」】



【中学生・高校生「定住意向」】



【18歳以上の市民「定住意向の理由」】

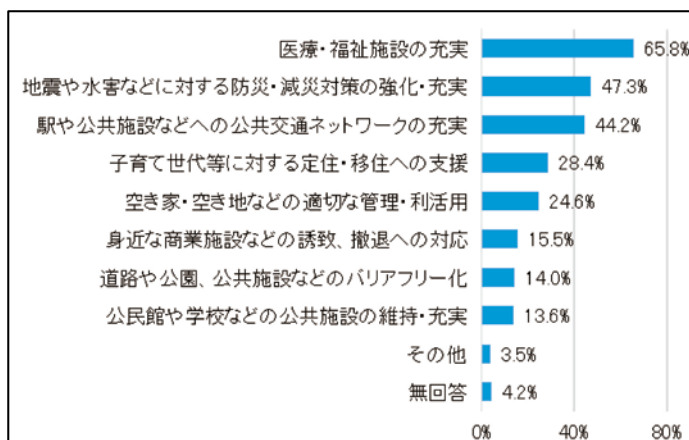
住み続けたい理由	割合	住み続けたくない理由	割合
住み親しんだまちだから	54.7%	医療や福祉施設が充実していないから	60.4%
住環境が良いから	42.1%	鉄道等の交通アクセスが不便だから	56.8%
大きなショッピングモールが近くにあるから	40.0%	通勤・通学が不便だから	54.1%
治安が良さそうだから	32.4%	買い物が不便だから	47.7%
買い物が便利だから	29.1%	地震や水害等の被害が多そうだから	37.8%
親や子どもなどの親族が住んでいるから	28.6%	働く場が近くに少ないから	32.4%
農地や河川等の緑と水の自然が豊かだから	23.7%	余暇や趣味等が楽しめないから	27.9%
通勤・通学に便利だから	17.9%	大きなショッピングモールがないから	21.6%
鉄道等の交通アクセスが便利だから	17.7%	住環境がよくないから	20.7%
地震や水害等の被害が少なそうだから	14.8%	子育てや教育のための環境がよくないから	16.2%
街並みが良いから	11.1%	街並みがよくないから	15.3%
子育てや教育のための環境が良いから	7.7%	その他	14.4%
働く場が近くに多いから	5.3%	治安が悪そうだから	12.6%
余暇や趣味等が楽しめそうだから	5.1%	農地や河川等の緑と水の自然が少ないから	4.5%
その他	4.8%	無回答	33.3%
医療や福祉施設が充実しているから	2.7%		
無回答	1.9%		

### 3 将来の都市づくりへの取組み

#### (1) 人口減少や超高齢化に向けて必要と考える取組み

人口減少や超高齢化に向けて必要と考える取組みについては、「医療施設・福祉施設の維持・充実」や「地震や水害、火災に対する防災・減災対策の強化・充実」「駅や医療施設・福祉施設、公共施設などへアクセスする公共交通ネットワークの充実」への回答が多く、必要な取組みとして重要視されています。

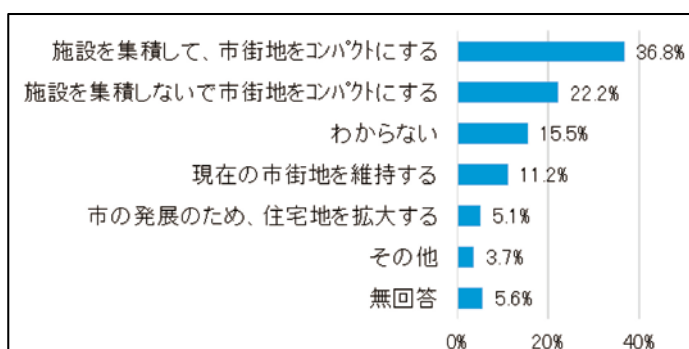
【18歳以上の市民「人口減少や超高齢化に向けて必要と考える取組」】



#### (2) 人口減少等に対応した今後の市街地のあり方

人口減少や超高齢化に対応した今後の市街地のあり方については、「駅周辺などの拠点に商業施設や公共施設などを集積し、ゆるやかに市街地をコンパクトにしていく」「駅周辺などの拠点に商業施設や公共施設などを集積しないが、ゆるやかに市街地をコンパクトにしていく」の順に回答が多くありました。

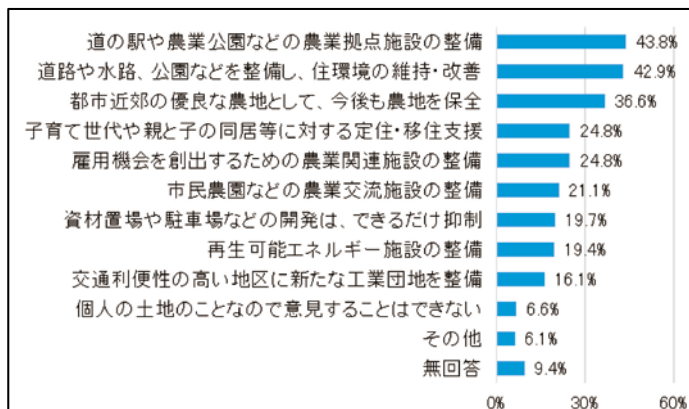
【18歳以上の市民「人口減少等に対応した今後の市街地のあり方」】



#### (3) 市街化調整区域の今後のまちづくり

市街化調整区域（旭・三輪野江地区など）の今後のまちづくりについては、「道の駅や農業公園、体験型農場などの農業拠点施設の整備を進めた方がよい」や「道路や水路、公園などの整備を行い、住環境の維持・改善を進めた方がよい」「都市近郊の優良な農地として、また自然環境を保全するため、今後も農地を保全した方がよい」の順に回答が多くありました。

【18歳以上の市民「市街化調整区域の今後のまちづくり」】



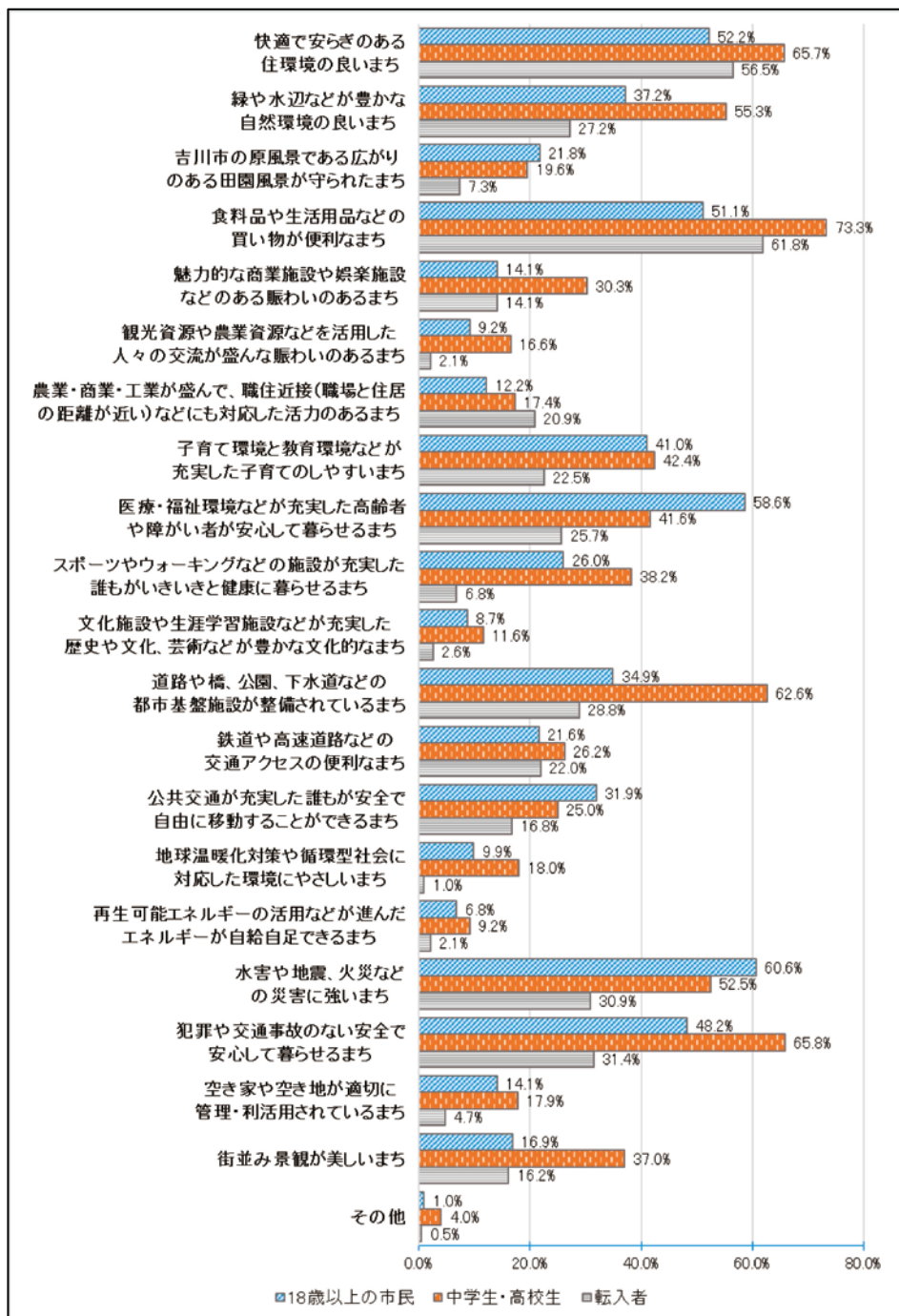
## 4 20年後の吉川市の望ましいすがた

「20年後、どのようなまちになってほしいと思いますか」という問いに対し、「18歳以上の市民」「中学生・高校生」「転入者」ともに「住環境の良いまち」や「買い物が便利なまち」を挙げており、日常生活における快適性や利便性が求められています。

また、「水害や地震などの災害に強いまち」や「犯罪などのない安全で安心して暮らせるまち」についても、「18歳以上の市民」「中学生・高校生」において高い割合であることから、引き続き、安全・安心な都市づくりが求められています。

この他、「中学生・高校生」においては、「道路や公園などの都市基盤施設が整備されたまち」「緑や水辺などが豊かな自然環境の良いまち」も高い割合となっています。

【「18歳以上の市民」「中学生・高校生」「転入者」の「20年後の吉川市の望ましいすがた」】



## 5 市民意向のまとめ

市民の都市づくりへの意向や意見等については、「市民意向調査」のほか、「よしかわ若者会議」「地域ヒアリング」「まちづくり掲示板」「自治会まちづくりアンケート」等の結果を踏まえ、次のとおり整理します。

### 《今後の都市づくりに特に重要な事項》

#### 【土地利用】

- 駅周辺の商業・業務施設の立地・集積
- スーパー等の身近な店舗の立地
- 住環境の維持・向上

#### 【公共公益施設】

- 医療施設・福祉施設の維持・充実

#### 【道路・公園・公共交通】

- 道路の整備と維持管理
- 歩道や自転車道等の整備とバリアフリー化
- 公園の維持管理と再整備
- 路線バス等の公共交通ネットワークの充実

#### 【環境】

- 道路や公園等の防犯対策（街灯、見通し等）
- 農地や水辺等の自然環境の保全

#### 【防災・減災】

- 水害に対する防災・減災対策の強化・充実

#### 【景観】

- 自宅周辺の街並み景観の維持と田園風景の保全
- 駅周辺の街並み景観の形成

### 《都市づくりの主な方向性》

- 快適で安らぎのある住環境の良いまち
- 食料品や生活用品などの買い物が便利なまち
- 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち
- 道路や公園などの都市基盤施設が整備されたまち
- 歩行者や自転車利用者が安全で快適に移動することができるまち
- 公共交通が充実した誰もが安全で自由に移動することができるまち
- 緑や水辺などが豊かな自然環境の良いまち
- 犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまち
- 水害や地震、火災などの災害に強いまち
- 良好な田園風景と街並み景観が調和したまち